

北九州市認知症に関する意識及び実態調査
 <<平成24年9月調査>>

医療機関用

* 調査票の記入にあたって

- ①記入にあたっては、黒又は青のインクのペン又はボールペンを使用してください。
- ②各設問の当てはまる番号に、○をつけてください。
- ③各設問において、「いずれか一つに○。」には、選択肢の中から一つにだけ○を、「複数回答可。」には、選択肢の中で当てはまるものすべてに○をつけてください。

<<基本項目>> ご記入いただく方(医師)についてお答え下さい。該当する項目に○

性 別	1 男	2 女		
医師としての 経験年数	1 0～5年 4 21～30年	2 6～10年 5 30年以上	3 11～20年	
医療機関等の 所在地	1 門司区 5 八幡東区	2 小倉北区 6 八幡西区	3 小倉南区 7 戸畑区	4 若松区
担当の診療科目 (複数回答可)	1 内科 4 循環器科 7 外科 10 肛門科 13 泌尿器科 15 リハビリテーション科 17 その他()	2 消化器科 5 精神科 8 整形外科 11 産婦人科 14 皮膚科	3 胃腸科 6 神経内科 9 脳神経外科 12 婦人科 16 小児科	
医療機関等の種別	1 病院(介護療養型医療施設を除く) 2 有床診療所 3 無床診療所 4 介護療養型医療施設 5 その他()			

問1 貴医療機関で、認知症の診断・治療を行っていますか。いずれか一つに○。

1 行っている →問2へ 2 行っていない →副問1・2へ

副問1 (2と答えた方のみ) 貴医療機関では、認知症の診断・治療希望があった場合、または認知症を合併した身体疾患患者や認知症が疑われる患者に対して、どのように対応していますか。複数回答可。

- 1 認知症が軽度であれば(身体疾患とともに)自院で経過をみている
- 2 ものわすれ外来に紹介している ※注1
- 3 紹介はしないが、ものわすれ外来の受診をすすめている
- 4 ものわすれ外来以外の専門医療機関に紹介している
- 5 認知症に関しては、特に紹介や対応はしていない
- 6 認知症が疑われる患者等の受診がないので答えられない
- 7 その他()

副問2 (2と答えた方のみ) 今後認知症の診断・治療をしたいと考えていますか。いずれか一つに○。

- 1 認知症の程度にかかわらず、積極的にしたい
- 2 認知症が軽度であればしたい
- 3 どちらとも言えない
- 4 する必要がない
- 5 その他()

→* 副問にお答えいただいた方は、問12へ

※注1

認知症の早期発見・早期対応を目的とした診療外来で、「ものわすれ外来」協力医療機関に設置されています。「ものわすれ外来」では、診断はもちろんのこと治療、その後の対応(認知症に対する対応や家族の対応など)、相談窓口の紹介などにも応じています。

問2 (問1で1と答えた方のみ) 認知症の診断をするのは主にどの診療科ですか。いずれか一つに○。

- | | |
|--------|----------|
| 1 内科 | 4 脳神経外科 |
| 2 精神科 | 5 心療内科 |
| 3 神経内科 | 6 その他() |

問3 (問1で1と答えた方のみ) 認知症患者への対応で、医師・看護師以外の専門職の関わりはありますか。いずれか一つに○。

- 1 ある →副問へ 2 ない

副問 (1と答えた方のみ) それはどのような職種の方ですか。複数回答可。

- | | |
|-----------|----------|
| 1 精神保健福祉士 | 5 理学療法士 |
| 2 作業療法士 | 6 言語聴覚士 |
| 3 臨床心理士 | 7 その他() |
| 4 社会福祉士 | |

問4 (問1で1と答えた方のみ) 下記を原因疾患とする認知症のうち、貴医療機関で診断・治療が可能なものはどれですか。複数回答可。

- | | |
|---------------|--------------------|
| 1 アルツハイマー型認知症 | 4 前頭側頭型認知症(ピック病含む) |
| 2 血管性認知症 | 5 その他() |
| 3 レビー小体型認知症 | |

問5 (問1で1と答えた方のみ) 若年性認知症(65歳未満で発症する認知症)の診断・治療は可能ですか。いずれか一つに○。

- 1 可能である 2 対応できない 3 その他()

問6 (問1で1と答えた方のみ) 貴医療機関では通常どのような検査方法を行っていますか。他の医療機関に検査を依頼する場合も含め、お答え下さい。複数回答可。

- | | |
|---------|-----------------------|
| 1 CT | 4 PET |
| 2 MRI | 5 認知機能検査(MMSE、HDS-R等) |
| 3 SPECT | 6 その他() |

問7 (問1で1と答えた方のみ) 認知症患者の治療はどのようにしていますか。いずれか一つに○。

- | |
|------------|
| 1 外来のみ |
| 2 自院で入院も可能 |
| 3 その他() |

問 8 (問 1 で 1 と答えた方のみ) 認知症の治療を主な目的とした訪問診療を行っていますか。 いずれか一つに○。

- | | |
|---------|----------|
| 1 行っている | 2 行っていない |
|---------|----------|

問 9 (問 1 で 1 と答えた方のみ) 認知症の診断を認知症患者本人や家族に告知していますか。 複数回答可。

- | |
|---------------------------------|
| 1 本人、家族ともに、公平に告知している |
| 2 まず、家族に告知し、家族の意向や時期をみて本人にも告知する |
| 3 家族のみに告知する |
| 4 本人のみに告知する |
| 5 本人に告知し、本人の意向次第で家族にも告知する |
| 6 どちらにも告知しない |
| 7 その他() |

問 10 (問 1 で 1 と答えた方のみ) 診断の結果、介護保険サービス等につなぐ必要があると判断されたとき、どのように対応していますか。 複数回答可。

- | | |
|------------------------------|--------------------|
| 1 併設している施設・機関を活用している | } 1～5と回答した方は副問1・2へ |
| 2 連携している施設・機関を活用している | |
| 3 近隣の居宅介護支援事業所についての情報を提供している | |
| 4 地域包括支援センターを紹介している | |
| 5 区役所の高齢者・障害者相談コーナーを紹介している | |
| 6 特に紹介や情報提供はしていない | |
| 7 その他() | |

副問 1 (1～5と答えた方のみ) 介護保険サービス等を紹介する際、紹介先に診断結果等を情報提供していますか。 いずれか一つに○。

- | | |
|----------|--------------|
| 1 必ずしている | 2 必要に応じてしている |
| 3 していない | 4 その他() |

副問 2 (1～5と答えた方のみ) 介護保険サービス等に紹介した後、定期的にその後の病状等の確認をしていますか。 いずれか一つに○。

- | | |
|----------|--------------|
| 1 必ずしている | 2 必要に応じてしている |
| 3 していない | 4 その他() |

問 11 (問 1 で 1 と答えた方のみ) 他の医療機関を紹介することがありますか。複数回答可。

- 1 ものわすれ外来に紹介することがある
- 2 認知症疾患医療センターに紹介することがある *注2
- 3 ものわすれ外来・認知症疾患医療センター以外の医療機関に紹介することがある
- 4 紹介することはない
- 5 その他()

*注2

認知症疾患医療センターは、保健医療・介護機関等と連携を図りながら、認知症疾患に関する鑑別診断、周辺症状と身体合併症に対する急性期治療、専門医療相談等を実施するとともに、地域保健医療・介護関係者への研修等を行うことにより、地域における認知症疾患の保健医療水準の向上を図ることを目的として北九州市が設置しており、現在、医療法人小倉蒲生病院を指定しています。

問 12 認知症の診断・治療等に関して、相談できる医療機関がありますか。いずれか一つに○。

- 1 日頃から気軽に相談している医療機関がある
- 2 相談しようと思えば相談できる医療機関がある
- 3 相談したいと思うが、相談できる医療機関がない
- 4 相談する必要性を感じたことはない
- 5 その他()

問 13 軽度認知障害(MCI:mild cognitive impairment *注3)について知っていますか。いずれか一つに○。

- 1 よく知っている
- 2 ある程度は知っている
- 3 聞いたことはある
- 4 知らない
- 5 その他()

*注3

軽度認知障害(MCI)とは、日常生活に支障をきたす程度には至らないため認知症とは診断されないが、記憶障害と軽度の認知障害が認められ、正常とも言い切れない中間的な段階をいいます。

最近の研究では、MCIと診断されてから、4~5年以内に約半数の方が認知症を発症すると報告されています。また、MCIと診断されても、適切な治療や予防を行うことで、認知症の発症を防ぐことも可能であるともいわれています。

問 14 ものわすれ外来について知っていましたか。 いずれか一つに○。

- | | |
|--------------|----------|
| 1 よく知っていた | 4 知らなかった |
| 2 ある程度は知っていた | 5 その他() |
| 3 聞いたことはあった | |

問 15 認知症疾患医療センターについて知っていましたか。 いずれか一つに○。

- | | |
|--------------|----------|
| 1 よく知っていた | 4 知らなかった |
| 2 ある程度は知っていた | 5 その他() |
| 3 聞いたことはあった | |

問 16 今後、認知症対策を進めていくうえで、北九州市はどのようなことに重点を置くべきだと考えますか。下の記入欄に最も重点を置くべきと考えるものから順に、5つまで番号をあげてください。

- 1 認知症を早期に発見し、認知症予防教室などの予防活動や専門医療機関につなげる取組み
- 2 専門医でなくてもある程度認知症のことがわかるようにする、あるいは、認知症専門医を養成するなど、医師の認知症対応力を上げる取組み
- 3 かかりつけ医から専門医療機関にスムーズに紹介・連携できる体制づくり
- 4 医療機関から介護サービス事業所や施設を紹介したり、行政のサービスにつなげる(あるいはその逆)など、医療と介護・行政との連携強化
- 5 介護サービスにあたる専門職(ケアマネジャー・ヘルパーなど)の質の向上
- 6 認知症の人が活動する場づくり、社会参加の支援
- 7 認知症をテーマにした講演会の開催など、認知症への正しい理解を広める取組み
- 8 介護する家族同士の交流や、介護経験者による相談会など、家族の精神的な負担を緩和する取組み
- 9 介護する家族を対象とした、認知症の人の介護やコミュニケーションのとり方などを内容とした研修会の開催
- 10 在宅で一時的に認知症の人を見守るボランティアなど、在宅での生活を支える取組み
- 11 認知症グループホーム(認知症の人が共同生活を営む住居)の整備
- 12 成年後見制度など、認知症の人の権利や財産を守る制度の充実
- 13 虐待を防止する制度や取組みの充実
- 14 徘徊時に認知症の人を探す仕組みづくりなど、徘徊や緊急時への対応
- 15 64歳以下で発症する若年性認知症患者への支援
- 16 その他 ()

* 番号を記入してください。

↓

--	--	--	--	--

問 17 北九州市における認知症対策の現状や問題点、及び経済的な面で困難に感じていること、認知症を取り巻く環境等について、ご意見やご感想を、下の自由記載欄にご自由にご記入ください。

〔自由記載欄〕

例：周囲の認知症の理解が足りず、肩身の狭い思いをすることがある。

：既存の社会保障制度だけでは、金銭的に厳しい。 等

ご協力ありがとうございました。